

## 6月議会に係る記者会見資料

平成27年5月25日(月)午後1時～  
ハイトピア伊賀 5階 学習室2

### 1. 市長からの発表

- (1) 「2015 ミラノ国際博覧会」日本館・イベント広場への  
出展概要について(資料No.1)
- (2) 伊賀流忍者萌えキャラクターの名前決定について(資料No.2)

本日、6月議会定例会の招集をいたしました。朝から、議会運営委員会を開催頂き、1日に開会し、24日までの24日間の会期で開催される予定となりました。

さて、先週20日に、静岡県御殿場市で、第120回東海市長会総会がありました。その中で、東海市長会役員の改選があり、同会の理事及び全国市長会の理事になることとなりました。正式には、6月10日開催される全国市長会で決定されますが、来年の全国市長会までの間、東海市長会及び全国市長会の理事を務めることとなりますので、報告します。また、21日には、近畿市長会が滋賀県近江八幡市で開催され、今年もオブザーバーという形で参加してまいりました。その中で感じたことは、国への要望事項の中で、ダムの地元負担の軽減であるとか、木津川河川の浚渫のことであるとか、近畿市長会の要望の中にあり、改めて伊賀は関西なんだと実感した次第です。

また、一昨日は、栃木県鹿沼市で開催された「第28回 奥の細道サミット」に出席してきました。芭蕉翁生誕地として、「俳句、俳諧、芭蕉の精神世界」をユネスコ無形文化遺産に登録することをめざし、関係自治体や関係団体等と連携すべく、呼びかけ等を行ってきたところです。

さて、本日の私からの発表は、2件です。

1つ目は、「「2015年ミラノ国際博覧会」日本館・イベント広場への出展概要について」です。

今月、5月1日から「2015年ミラノ国際博覧会」が開幕しました。10月31日まで、イタリアの北部にあるミラノ市で、「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに開催され、日本も「共生する多様性」をテーマに日本館を出展しています。

既に、昨年度に発表の通り、伊賀市では、これを「伊賀市を世界に発信する絶好の機会」と捉え、6月28日から30日までの3日間、「伊賀流忍者の精神と食文化」をテーマに、参加します。

このたび、お手元に配布の資料No.1の通り、具体的な出展概要と実施計画が固まりましたので、発表いたします。

出展内容としては、日本館の中に設けられている「イベント広場」を使い、日本を代表するコンテンツである「忍者」の本家本元として、伊賀流忍者特殊軍団阿修羅東京支

部によるステージでの忍者ショーや、パンフレットの配布で、伊賀流忍者の精神を伝えることとしています。

また、展示スペースでは、忍者が生まれた隠れ里ならではの食文化として、伊賀の日本酒や漬物といった醸造、発酵食品の魅力や、伊賀の伝統菓子である「おしもん」、忍者の携帯食がルーツである「かたやき」はじめ、伝統工芸品である伊賀焼、伊賀くみひもの展示等を行います。

伊賀酒ですが、市の乾杯条例ではありませんが、伊賀焼のお猪口で、伊賀酒の試飲を楽しんで頂くこととします。

当初心配していました伊賀牛ですが、万博特例により提供が可能となりましたので、来場者に試食として提供する予定です。

今回、伊賀市の観光資源である忍者のPRと日本酒や伊賀牛、和菓子等の特産品を、はじめてヨーロッパに持ち込み機会となります。どのような評価をいただけるのか、それを試す絶好の機会と考えているところです。

なお、日本館イベント広場については、万博開催中に49の自治体や団体が出展を予定しています。その中で、政令指定都市以外の市町村単位の自治体で出展するのは、福井県小浜市（7月）、山形県鶴岡市（10月）、新潟県燕市（9月）、三条市（9月）となっています。

さて、私ですが、6月26日（金）に日本を立ち、27日に現地打合せ、28日と29日の両日はイベントに出席し、最終の30日は、在ミラノ日本国総領事館を訪問する予定です。なお、7月1日ですが、4日まで三重県が出展しますので、1日の三重県オープンとテストマーケティングに出席することとしています。2日に帰路に着き、時差の関係で、帰国は3日になる予定です。

一層の外国人観光客の誘客が叫ばれている中、また、地方創生における市街地の賑わいづくりの創出、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けての誘客活動など、文字通りトップセールスを行って参りたいと考えているところです。

2点目は、「伊賀流忍者萌えキャラクターの名前決定について」です。

先月（4月）24日に、伊賀流忍者をモチーフにした「萌えキャラクター」の誕生を、発表したところですが、この度、名前が決定しましたので、発表します。

名前は、「伊賀嵐 マイ」（いがらし まい）です。＝色紙を前に出す＝

4月26日から5月10日まで、市のホームページなどで、名前の募集したところ、全国から381件の応募がありました。

伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会で、イメージに合う、名前をと決定したものです。

名前の由来は「国内外に伊賀や忍者の嵐を巻き起こす」「華麗に舞うくの一、伊賀米のマイ」からです。また、言葉の響きや、名前が与えるインパクトなどから、決定しました。

さて、今後の彼女、伊賀嵐マイの活動ですが、伊賀忍者のPRはもちろんですが、志摩市公認キャラクターの「碧志摩メグ（あおしま めぐ）」とともに、「マイちゃん、メグちゃん」コンビで活躍して頂き、国内のみならず海外に向けてもPR活動を展開していきたいと、担当である観光戦略課では意気込んでいるところです。

また、名前の決定に伴い、市民の皆さんに「伊賀嵐マイ」の誕生を知って頂くため、ポスターを先着500枚無料で配布します。

配布期間は、6月1日（月）から6月30日（火）の土日、祝日を除く平日の午前9時から午後5時まで。上野ふれあいプラザ内にある観光戦略課で、先着500枚でお一人3枚まで配布します。無くなり次第終了となります。

私からの発表は、以上です。

## 2. 6月議会提出議案について

議会会期内予定表及び、提出議案目録のとおりです。

## 3. 6月の主な行事予定

男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2015」

～私が変える!!女男<sup>とも</sup>に輝ける社会～（資料No.3）

日時：6月13日（土）12：00～15：30

場所：ふるさと会館いが

内容：・いきいき交流ひろば（男女共同参画ネットワーク会議会員による展示・販売）  
・オープニング（スタジオ00ZE（ウズ））によるダンスパフォーマンス  
・講演会：「だから必要！男女共同参画」

講師：石坂<sup>いしざか</sup> 督規<sup>とくのり</sup>さん（東京未来大学 准教授）

・パネルディスカッション（「私が変える!!女男（とも）に輝ける社会」をテーマに教育・家庭・企業の分野を代表するパネリストのディスカッション）  
・子ども向けイベント「わくわくランド」

問い合わせ先：人権政策・男女共同参画課（22-9632）

## 4. その他

### 【主な質疑応答】

（記者）どのような選考で、いつ決定されましたか。

（観光戦略課）NINJA フェスタ実行委員会の話し合いにより、5月21日に選考し決定しました。複数候補を絞ったうえで最終決定をしました。

（記者）「伊賀嵐メグ」のミラノ万博での活躍はありますか。

(市長) ミラノまで連れて行きます。

(観光戦略課) イベント中はイベントスペース横にいただきます。

(記者) 志摩市の萌えキャラクター「碧志摩メグ」との連携はありますか。

(観光戦略課) 今後連携をしていくよう検討中です。

(市長) マイちゃん、メグちゃんです。いろいろなシチュエーションでコラボレーションできたらいいなと考えています。

(記者) 自衛隊の活動範囲に対する安保法制が国会審議入りしましたが、市長の考え方を教えてください。

(市長) 国会議員がしっかりと審議をされて国民、市民が納得できるような結果を出していただきたい。

(記者) 賛成や反対という意見はありますか。

(市長) 個人的には考えはありますが、立場上、申し上げることはいたしません。自分たちのことであることから、国民もしっかりとその行方を確認していかなければならないと思います。